

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターかきのみ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 6年 2月 9日(金) 9:30 ~11:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

じぶんがすき みんながすき
じぶんできめる みんなときめる

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

1. 構築したものを実践しながら振り返り、改善に努め継続可能なものにしていきます。
2. 職員満足度調査から働きやすさからやりがいのある職場へと職員ニーズに応え満足率80%目指します。
3. つなぐ(人と人とがつながる事で生まれる喜びや学び、信頼する心を大切にします)

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

※ 裏面もご覧ください

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	・教育・保育テーマや教育・保育重点目標を理解した上で、週案などの指導計画を立案する際に意識して作成している。 ・理解はしているが常時目に触れる場所に掲示していない為、内容を聞かれた時に重点目標の明確な言語化に自信がない。	3	・職員がグランドデザインを言えないのは、理解はしているつもりでも抽象的な内容なので表現が難しいのではないかと。 ・重点目標を正しく言えといわれても難しい。また外の人に見える化するのも難しいのではないかと。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・指導計画の作成においては話し合いを重ねて立案しているが、普段から目の届く場所に掲示してあると常に指導計画を意識した教育・保育の実践が可能になると思う。 ・環境としては、季節や子どもの関心に合わせた設定が不十分であった。動物や昆虫等の飼育を通した「命の尊さ」の指導は、年齢に関わらず難しい。 ・コロナウイルス感染症が5類に移行したが、地域社会との繋がりの希薄さが未だあると感じる。	4	・子どもの発達と指導計画を照らし合わせてその都度見直しているのは素晴らしいと思った。 ・行事や伝統を大切に先生たちがアイデアを出し合っているのに感心した。 ・発達に即して計画を立てているところも良いかと思う。 ・十分に達成されたと職員が評価していないことについては、どこに課題があるのか見極める必要がある。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・年齢の枠を超えた園児・職員の関わりが自然とできている。 ・毎日の活動でもコーナーに分かれて遊べるのは、子どもの自己決定を尊重しており、我慢をしなくてよい良さがある。 ・園独自で作成した「大切にしたい12のこと」を、毎月の職員会議で読み合わせることで、自園の職員としての自覚や保育への姿勢が日々の教育・保育に反映されている。	4	・職員は担任であってもなくても、支援を必要としているであろう子に声をかけている。職員がすべてに介入するのではなく、子ども一人ひとりが見守られながら、必要に応じて支援がなされ大事に保育されていると感じた。 ・行事も子ども達の年齢や発達に合わせて行われていると思った。 ・「自分で決めるみんなと決める」は、幼児教育の中でも一番大事な所で、かきのみ保育の中でも意識されて行われていると感じた。 ・いつも職員が子ども達の事をよく見てくれている。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやおたより等で、日々の情報の発信はできている。 ・挨拶が自然とできており、日々のコミュニケーションから信頼関係は築けていると思う。 ・保護者の方の理解もあることから、行事も楽しく行う事が出来ている。 ・懇談会や保育参加、日々のコミュニケーションから、園と保護者の方との細やかな連携が子どもの心身の発達に良い影響を与えていると感じる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生がたくさん話をしてくれ、子どもの事をよく見てくれていると感じる。先生達の中に挨拶してくれない人がいると書かれているが、そのようなことは感じない。 ・送迎時は、親御さんとのコミュニケーションがとれる大切な情報交換の場となっており、その時間も大切ではないか。
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの情報発信や、広報誌やおたよりで園の情報や専門知識を配布することは、地域の親子と園との橋渡しに役買っていると感じる。 ・小学校や近隣園との関わりが以前と比べ減少している。 ・園舎が道路から遠く周囲から園の様子が分かりにくいなどの立地条件から、地域親子以外の方が入るには勇気がいるのかもしれない。 ・園での取り組みが、地域社会に伝わっているか不安である。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は小学校の先生に運動会や入学説明会にも来てもらっていたが、今はそれも行っていない。職員の中には1回くらいは来てもらった方がいいのではないかという話も出ているが、運動会は半日開催になったり、コロナ禍の3年間で見直したこともあるため、元に戻すのは難しいこともあると感じる。 ・地域の親子にとっては園舎へ入りにくいのではないか。 ・子ども達は急に小学校という緊張する中で、学校給食の見学など園の活動の中で学校に出かけ様子を見る経験をさせてあげたいと思う。
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすくコミュニケーションが取れる職員関係であり、全体的に温かく雰囲気が良い。 ・自分の価値観だけで教育・保育を提供しないように心掛けている。 ・個性を活かして業務を遂行したい。 ・毎月行われる、園職員有志による「ちくちくクラブ」にて環境の準備ができていている一方、室内の片付け等がおさなりになってしまう事があった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫の得意な職員が有志で立ち上げた「ちくちくクラブ」だが、若い職員も参加する中で、先輩職員に製作した物を褒めてもらい認められたことを実感している様子が見てうかがえる。 ・サッカーの時など若い先生方が応援にきてくださる姿を見ると、皆仲良く、若い先生や年配の先生達が上手くやっていると思う。